

# 海響 ドリーム + 今月

今村豊氏監修

徹底  
攻略

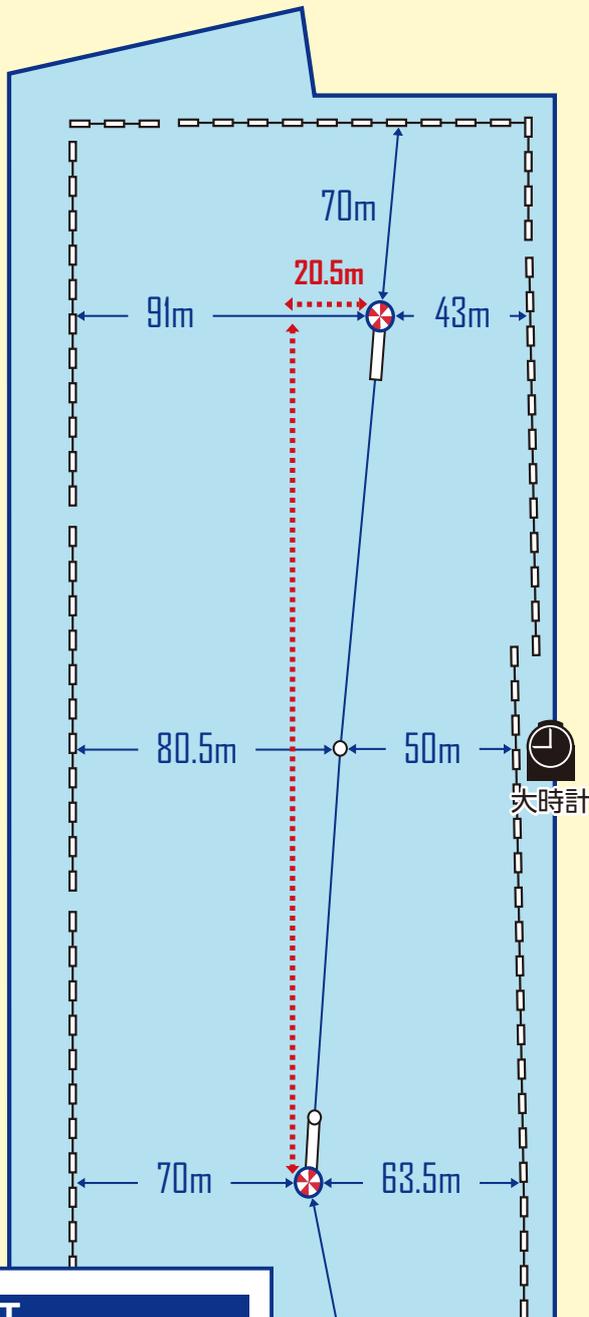
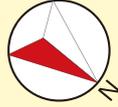


POINT

- ★ 下関のレース傾向を知る!
- ★ 勝負勘を支えるデータを集約!
- ★ 過去から未来を予測するならコレ!



## 水面図



### POINT

ピットから2マークまでの距離173mはからつの178mに次いで全国2番目に長い。ピット離れの優劣がコース取りに反映される水面だ。



本番ピット 展示ピット



## 1マーク前43mは全国平均とほぼ同一

下関の1マーク前の広さは43m。全国平均値の43.4mとほぼ同じだ。最も広い芦屋よりも10m狭く、最も狭い戸田や平和島よりも6m広い配置となっている。

下関はボートレース本来のスタンダードな予想が成り立つ水面。スタート団体ならば1コースが有利。2コースは差し追走が基本でセンターが握って回る形態となる。

## 2マークから1マークの振り幅は小さめ

下関は2マーク前が63.5m、1マーク前が43mとなっており、振り幅は20.5mである。これは全国平均の24.1mより小さい。

振り幅が大きくなればなるほどセンター・アウトの攻勢が利く。内側艇は、外側に張っていかないとターンマークが近くなりすぎ旋回が窮屈になるためだ。その場合、内側艇は外に向け斜めに走ることで航走距離がやや長くなることも影響する。

## コース別入着率は平均的ながラインが利く

区分	1着率	2着率	3着率
①コース	61.4 (56.0)	15.7 (17.4)	7.7 (8.9)
②コース	12.2 (14.3)	26.3 (25.9)	19.9 (18.7)
③コース	9.8 (12.6)	22.9 (21.8)	21.2 (20.7)
④コース	9.6 (10.8)	17.3 (17.6)	20.9 (20.6)
⑤コース	6.1 (5.7)	12.5 (12.4)	17.6 (18.8)
⑥コース	2.1 (1.8)	6.6 (6.2)	14.1 (13.7)

※1 過去3年間 (2019年12月~2022年11月) のコース別入着率 (%)  
 ※2 カッコ内は全国平均

# 下関を最もよく知る松野京吾が斬る!

## 徹底解説!! ボートレース下関基本データ

### ①うねりの心配がない海水面が下関

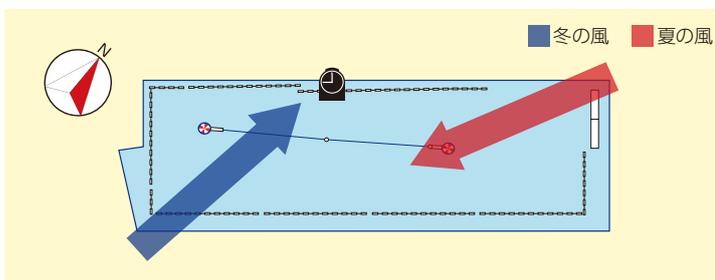
2017年に堤防を高くした際、1マークの向こう側に鉄板を埋め込みプール型に石を積んだことで、うねりがとても小さくなりました。よほどのことがない限り潮が入ってくることはないです。つまり干満差はないとみていいです。

### ②スピードのある選手が有利

水面が安定したことで、握っていく選手の有利性が上がりました。思い切ってハンドルやレバー操作ができることもあり、素早い差しやまくり差しも決まりやすいと思います。

### ③冬は追い基調、夏は向い傾向

冬は北風で、スタンドにかかりながら右後方から吹くことが多いです。ただ、北北東や東北東の風になると真後ろからの追い風になります。夏は左斜め前、つまり対岸側から吹く向い風が多いです。



#### 【松野京吾さんプロフィール】

山口県出身。1982年11月デビュー以来、2016年1月に戸田で引退するまで32年あまりにわたり記念レーサーとして活躍した。通算1着回数は2,093。優勝回数は58を数える。現在はJLC専属解説者としてボートレース下関を中心に活躍中。

## 風とレース傾向

ボートは水上を浮きながら滑走する。それゆえ風の影響を受けやすく、レース展開に影響を及ぼすのだ。

### 5mを超える強い向かい風の場合



2コースや3コースがやや遅れ気味になることがあり、その場合、4コースなどのカドが主導権を握ることになります。

### 追い風の場合



インが有利ですが、やっかいなこともあります。ターン時、風で流れないようにやや落として旋回しようとするからです。その瞬間を全速で突かれると抵抗できません。慎重過ぎてもいけないし警戒し過ぎてもいけないのです。

### スタンド右後方側からの横風



旋回時、インの選手がバック側にやや流れ気味になるため、2コースや4コースなどの差し込む選手に有利な流れになります。

強風時はスタートが難しいもの。枠番に関係なくスタート力のある選手に注目してもいいでしょう。コンディションが変わった時こそスタート力のある選手を狙いたいです。

松野京吾さん

## イチオシレーサー



登録番号	選手名	支部	級別	登録期
5163	清水 愛海	山口	A2級	127期

趣味 買い物      好きな食べ物 鍋

注目度 ★★★★★

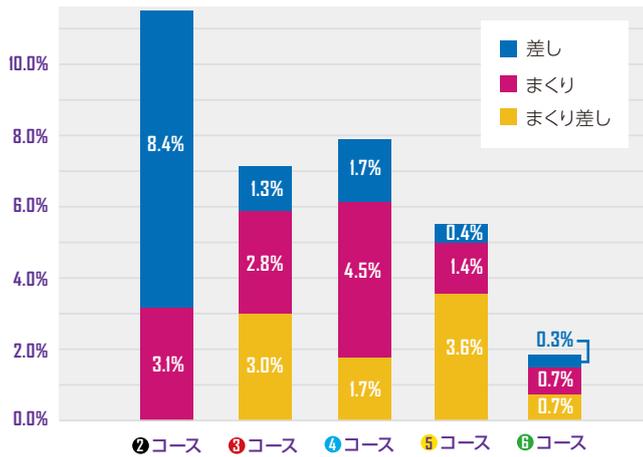
スピードがあっていいです。何よりハンドルが入るところがいいです。初動で一気に入る…。だから舟の向きが違いますよね。ボートが返ってきます。あと道中の接戦でも全速ターンが繰り出せるところは高く評価できます。

# コースと決まり手の傾向を知る

## 下関のレース傾向と決まり手

レースの94%は1マークで決まる。**抜きや恵まれは6%しかない**。逃げはインの専属技。差しとまくりは2コースから6コースの、まくり差しは3コースから6コースの決まり手であることを念頭においてデータを解析したい。

差し・まくり・まくり差しのコース割合



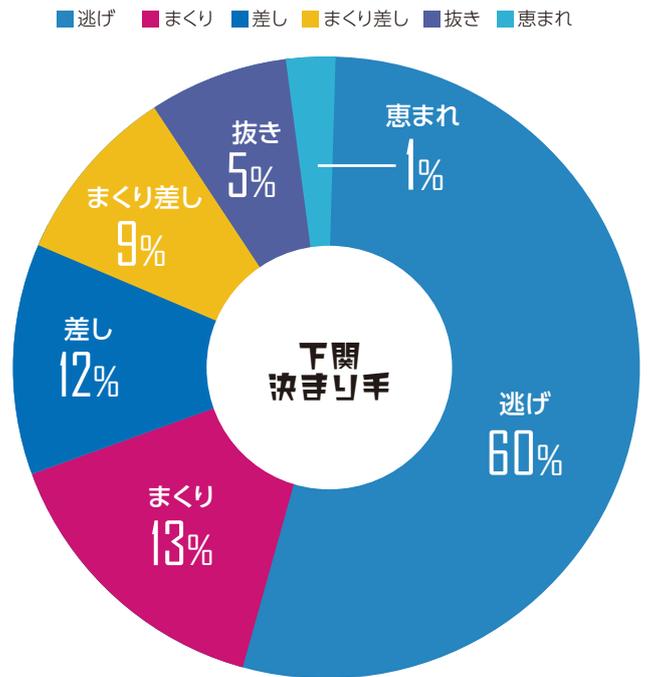
決まり手	②コース	③コース	④コース	⑤コース	⑥コース
差し	8.4%	1.3%	1.7%	0.4%	0.3%
まくり	3.1%	2.8%	4.5%	1.4%	0.7%
まくり差し	0.0%	3.0%	1.7%	3.6%	0.7%

集計期間：2022年1月～12月

## 下関の決まり手は60%がイン逃げ

下関の過去1年間の決まり手の割合は以下のとおり。**イン逃げ率は60%ある**。全国平均の54%より高い。

下関の決まり手の割合



集計期間：2022年1月～12月

## インを制覇し本線筋を見極めろ！！

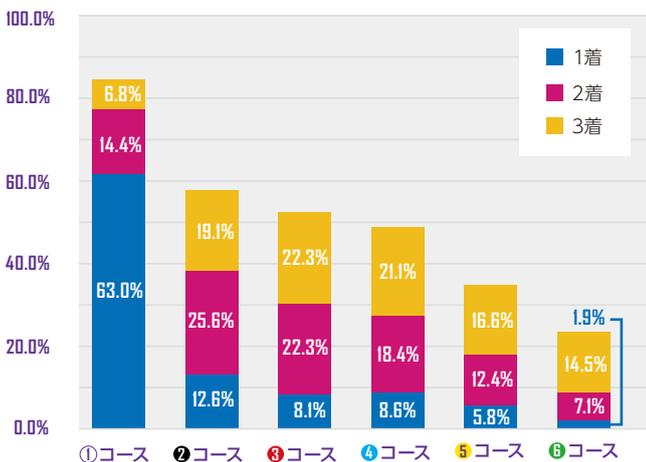
下関はインコースが利く水面。**1着率は全国平均の55.6%よりかなり高い63.0%もある**。(内訳：イン逃げ60.0%+恵まれと抜き3.0%)

そのため、他のコースの1着率が全

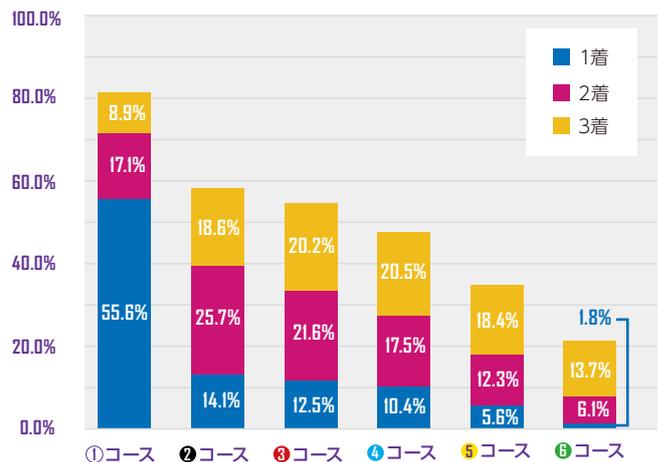
国平均よりも低くなる傾向にあるが、5コースと6コースは全国平均よりも高い。特に5コースのまくり差しが決まりやすいので抑えておきたい。

また、**3コースから外の2連対率が高いのが特徴**。総合すると、舟券的には①-③、①-④を本線筋にしてもいいだろう。

下関コース別入着率



全国コース別入着率



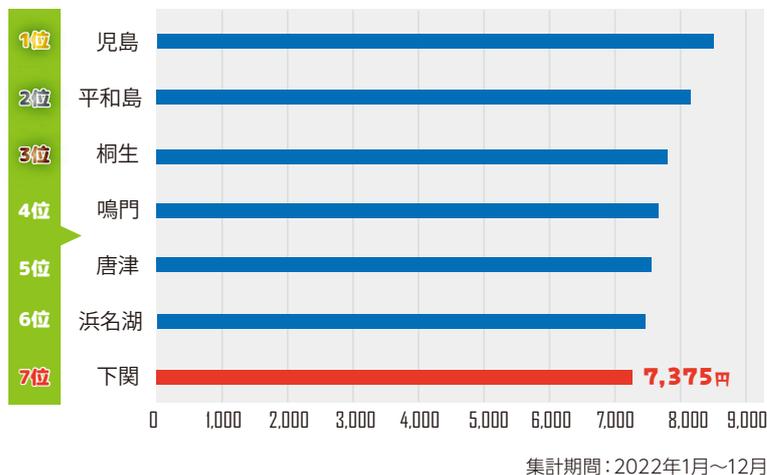
集計期間：2022年1月～12月

# 無視できない配当バランス

## 平均配当が高めな下関

2022年1年間の3連単平均配当は以下のとおりである。下関は高い方から7番目。インが平均以上に強い割に配当がいい点を抑えておきたい。

3連単平均配当ランキング



## 下関の3連単万舟率は16.8%

全国24場の中でも標準的なレース傾向の下関の3連単万舟率は16.8%。低くも高くもない。ただ、この万舟率を高いとみるか低いとみるかは、それぞれの期待度にもよる。あなたはどうか。

3連単万舟券の24場中の順位	3連単万舟率
11位	16.8%

インが強いけど配当は高めなのから!!



平均配当 **7,375円**

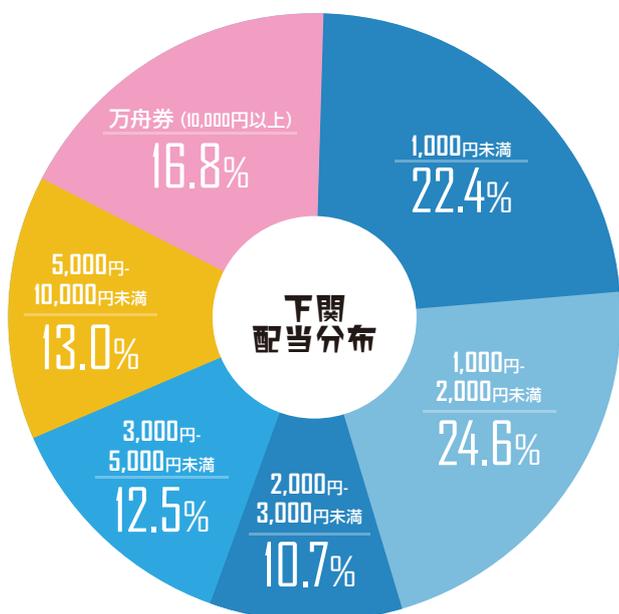
## 下関の配当傾向の中心ゾーンは2,000円未満

下関の2022年1年間の平均配当を区分すると以下のとおりとなる。3連単の平均配当は7,375円だが、配当傾向の中心ゾーンは2,000円

未満だ。細分化すると1,000円未満が22.4%、1,000円から2,000円未満が24.6%である。これをさらに大分類すると

下記のとおりとなる。なお、5,000円から10,000円未満が13.0%あることは覚えておきたい。

下関配当分布



集計期間: 2022年1月~12月

下関の平均配当は7,375円であるが、これは、7,000円台付近のオッズを狙っていれば的中しやすいということではない。実際、5,000円から10,000円未満の決着は全体の13.0%。左記円グラフから分かるように、配当傾向の中心ゾーンは2,000円未満である。

注意が必要なのは、1,000円未満の配当についてである。通常、1,000円を切るオッズは多くない。1,000円を切るということは「固いレース」とファンの多くが推理しているからであり、限定的な「固い展開」は少数となる。一方、「混戦レース」と予想されれば1,000円以上2,000円未満が多くなる。

もちろん、16.8%もある万舟券にターゲットを絞る作戦もあるだろう。データの的には、1日あたり2本の万舟券が出現していることになるのだ。

ボートレースの楽しみ方は人それぞれ千差万別。だからこそ面白いといえる。

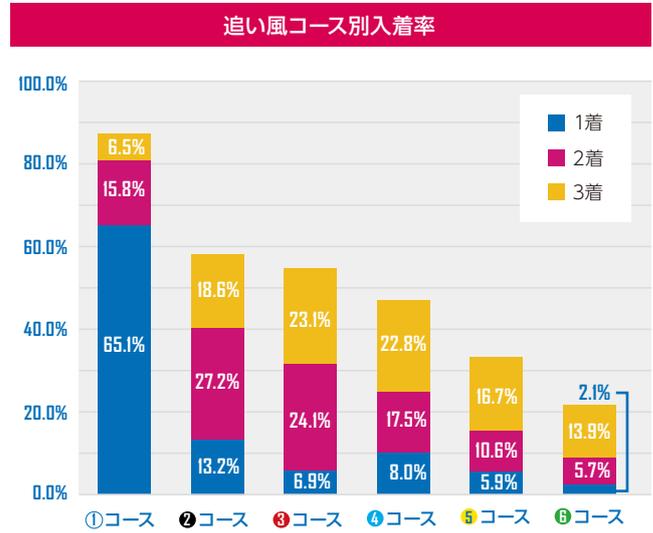
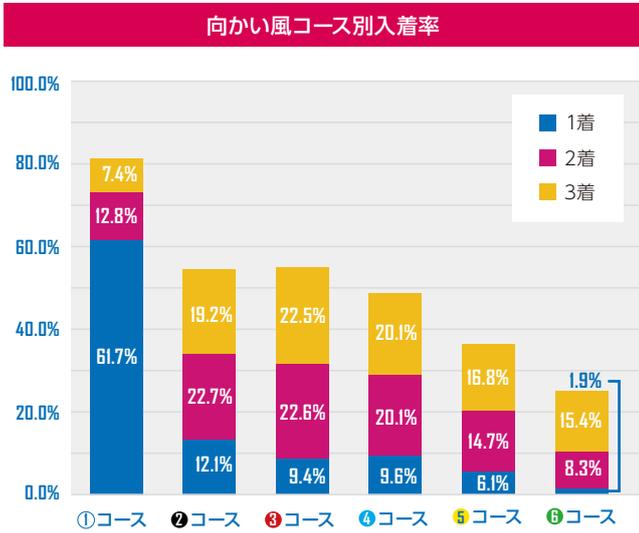
# 風を知りレースを読む

**冬場の季節風に要注意。**令和3年12月に更新された下関市環境白書によると、「冬期においては、北西からの季節風が強い」とうたわれている。

スタンド側からの斜め横風を意味するが、これが曲者。少し時間が変われば、追い風や向かい風にすぐに変化してしまう。12月～2月は特にスタ

ート力が問われる時期であり、節間のスタートタイミングや展示航走に特に注目しておきたい。以下に風向きと入着率の関係性を記した。

## 風によって変化する入着率 [追い風と向かい風]

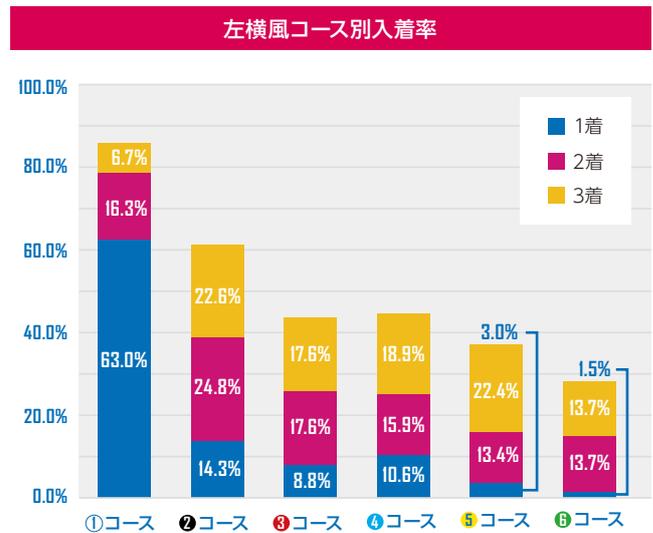
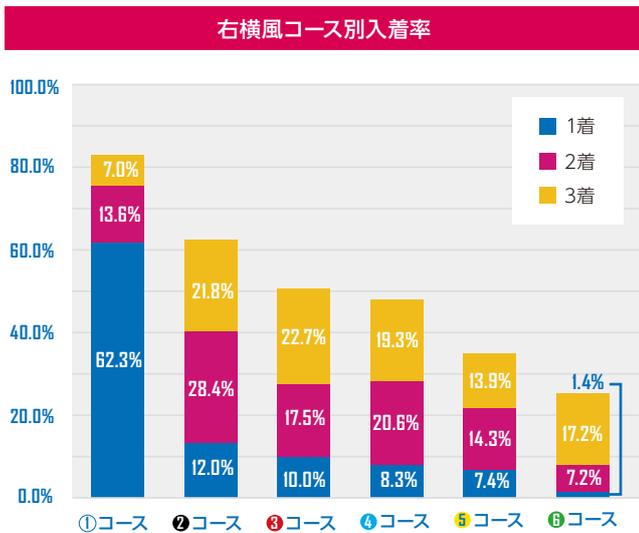


集計期間：2022年1月～12月

### POINT

- ① 下関で追い風が吹くときは、インコースが強く、2着までに入る可能性が高い。またセンターが利きにくい。
- ② 下関で向かい風が吹くときは、インがやや弱くなりセンターが利く。さらに4・5・6コースの2着率が上がる。
- ③ 従って、下関では「追い風はイン風」「向かい風はかまし風」となる。

## 横風の場合の変化 [右横風と左横風]



集計期間：2022年1月～12月

### POINT

- ① 右横風の時、インに対し2コースや4コースから差し続くことが多くなる。
- ② 左横風の時、3コースの連絡み率が下がり、代わりに5コースの率が上がる。



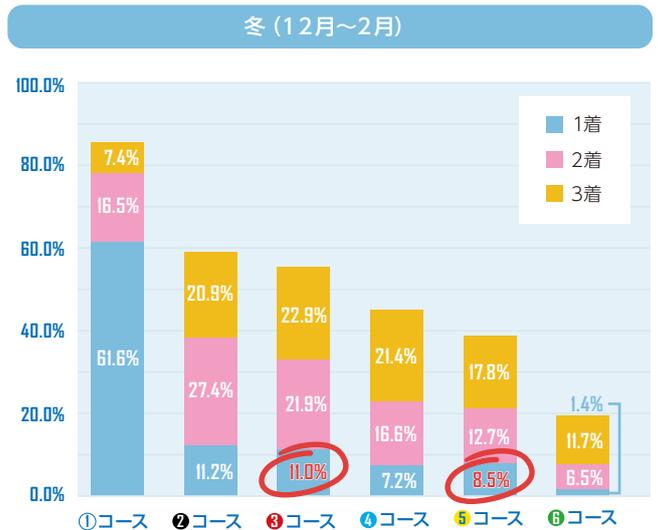
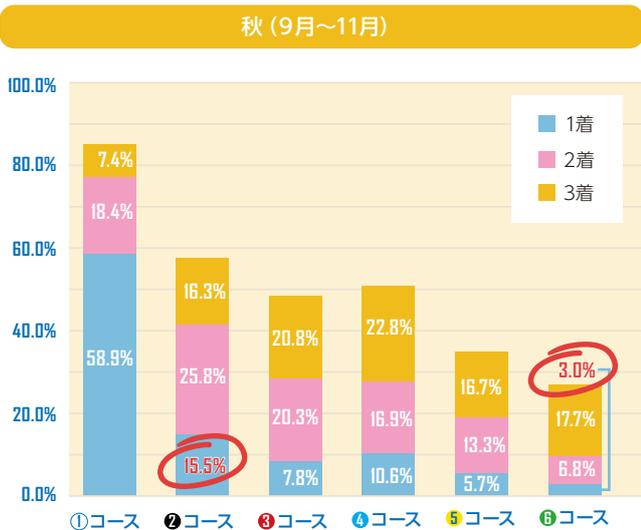
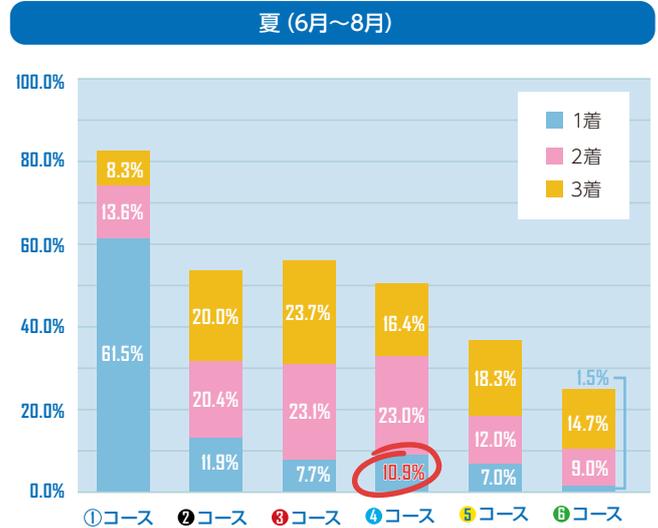
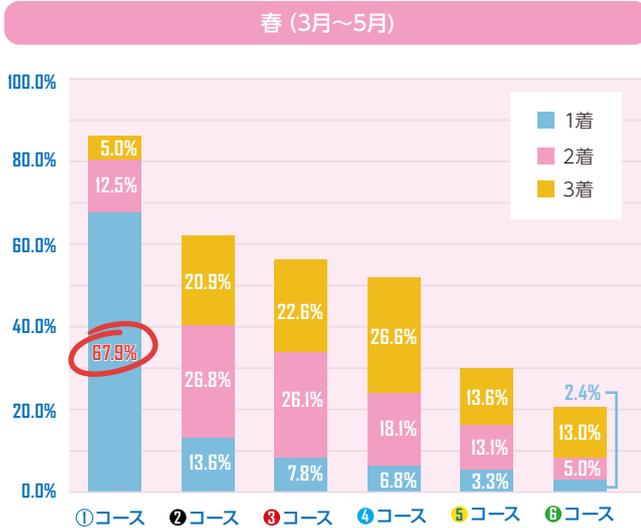
# 季節で変わるレース傾向



## 季節ごとのコース別成績

下の図で特に注目したいのが、**春になる**と**1コースが特に狙い目**となること。季節

別の特徴を頭に入れつつ、ぜひ舟券購入時の参考にしていただきたい。



集計期間：2021年12月～2022年11月

## 季節別の基本的な傾向

### 春はイン逃げ

春 (3月～5月) はイン逃げ率が上昇する。秋よりも9%、夏や冬に比べて6%以上高いのだ。緩やかな追い風基調になったらますます逃げやすくなるので要チェックだ。

### 夏は4カド

夏 (6月～8月) は4カドに注目。冬や春よりも4%前後高くなるのは、ダッシュ乗りがやや鈍くなることが影響していると考えられる。また、2着率も他の季節に比べかなり高い。

### 秋は差し

秋 (9月～11月) は2コース差しが決まる傾向。夏や冬よりも4%。特に、ゆるやかな追い風が吹くと、2コースはポートを鋭く向けやすくなる。早差しに好条件だ。

### 冬は3コース

冬 (12月～2月) は強めの向い風が吹きやすい。微風ならインに好条件だが、強めの向い風は1・2コースのダッシュ乗りに影響する。2マーク横からキッチリ起こせる3コースに有利性が増す。

# レース番号別傾向を知る

確認しておきたい固定された企画レース！！ポートレース下関の各レース別の傾向

注目  
レース

- ① 5R「シーモ戦」…イン戦を主体とした展開が推理できる番組が中心
- ② 7R「ふく〜る戦」…A級レーサーを主体に波乱要素をやや含んだ番組
- ③ 8R「進入固定」…1日1回の進入固定戦



レース	平均配当額	イン1着率	イン1着時平均配当	イン回収率
1R	6,810円	59.8%	3,083円	92.2%
2R	9,718円	54.4%	3,034円	82.5%
3R	6,492円	49.5%	3,761円	93.1%
4R	8,714円	48.3%	3,338円	80.6%
5R	7,713円	57.1%	3,604円	102.9%
6R	6,230円	59.7%	2,246円	67.0%
7R	5,919円	61.7%	1,891円	58.3%
8R	5,673円	72.5%	1,988円	72.1%
9R	9,876円	73.3%	2,417円	88.6%
10R	9,711円	69.6%	1,664円	57.9%
11R	5,975円	80.4%	2,033円	81.7%
12R	5,676円	75.8%	2,052円	77.8%



5Rシーモ戦に  
特に注目  
どうぞ！！

集計期間：2022年1月～12月

1日12個のレースが実施されるポートレースにはレース番号毎の傾向がある。それを知るメリットは極めて大きい。まず、確認しておきたいのが上記の固定された企画レースである。突出しているのは5R。イン選手で流しておけば負けない計算になる。回収率は102.9%に及ぶ。イン1着率が

57.1%なのにも関わらず、イン1着時の平均配当が3,604円あるのも大きい。イン1着率が圧倒的に高いのが11R。なんと80.4%という驚異的な値である。但し、①一流一流の20点では元を取れない。イン選手でアタマを固定し相手を絞る作戦が肝要だ。

反対にイン1着率が最も低いのが4Rの48.3%。11Rとは32.1%も違いがあるのだ。ただ、注意したいのはイン1着率が低いからといって回収率が極めて低いわけではない。人気薄のイン選手が先頭ゴールを果たすことがあるため、イン1着時の平均配当額は高めである。

見逃さない  
貴重なデータ  
ね！！



3連単平均配当	全レース平均	2R	9R	10R
	7,375円	9,718円	9,876円	9,711円
イン1着率	63.0%	54.4%	73.3%	69.6%
逃げ	60.0%	50.5%	68.7%	66.5%
まくり	12.6%	17.0%	11.0%	9.9%
差し	12.0%	13.2%	6.6%	9.3%
まくり差し	9.0%	9.9%	8.2%	8.2%
その他	6.4%	9.3%	5.5%	6.0%

集計期間：2022年1月～12月

下関の各レースには独特の傾向があるが、中でも高配当が出やすい2R、9R、10Rの傾向を整理した。同じ平均配当9,000円台でも全く様相が異なることが分かる。

2Rは逃げ率が低く、まくり決着が17.0%と圧倒的に多い。そして、ま

りにのって差す選手の浮上もデータに表れている。差し決着13.2%がその証だ。

また、9Rと10Rの決定的な差は2コースが残せるかどうか。9Rは3コースにまくる選手が入ることが多く、2コースが引き波に入ってしまう

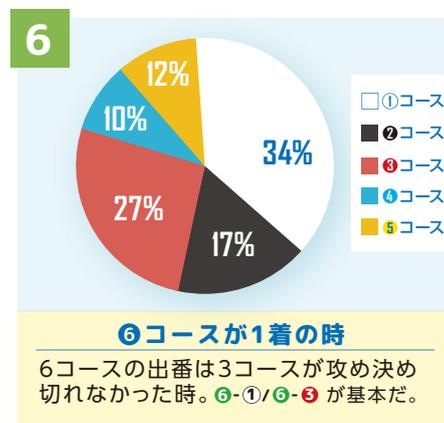
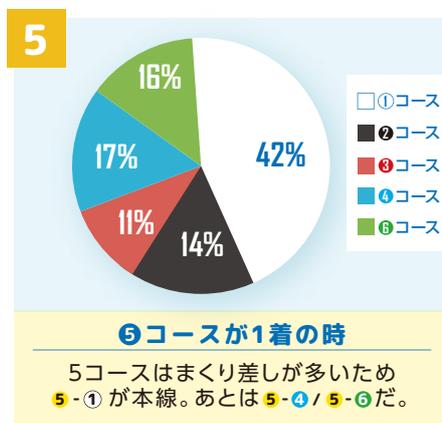
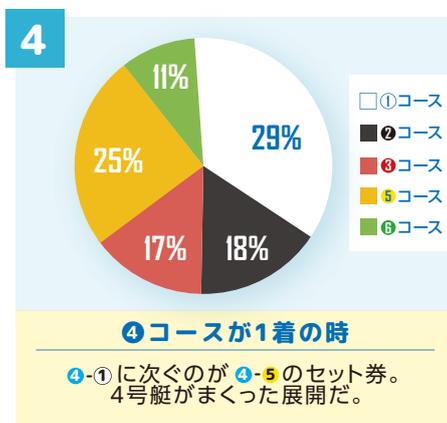
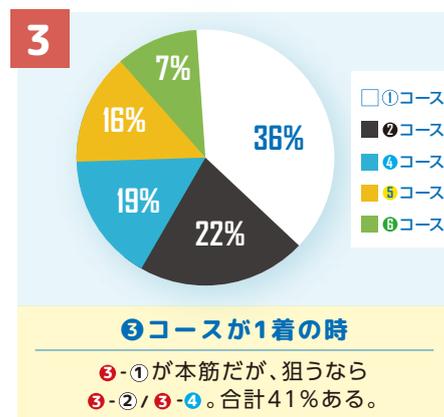
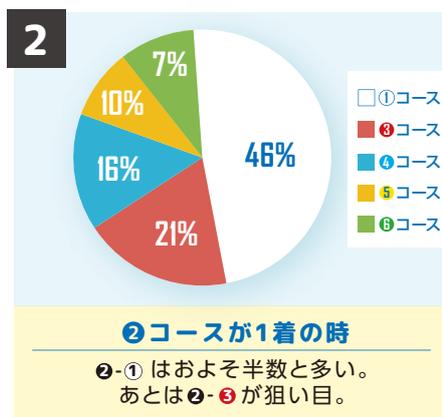
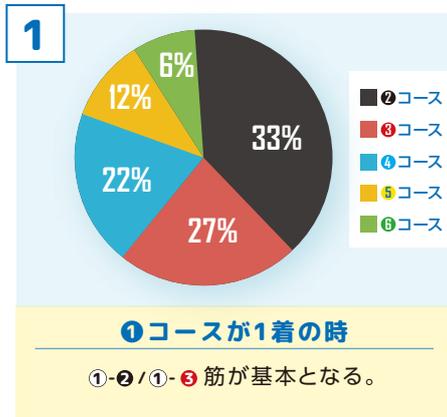
展開を失うケースが若干多い。

こうしたデータは2022年1年間のもの。長く楽しめば楽しむほど実際が過去のデータに近づいていくという傾向は無視できないだろう。

# 舟券攻略のための必携情報

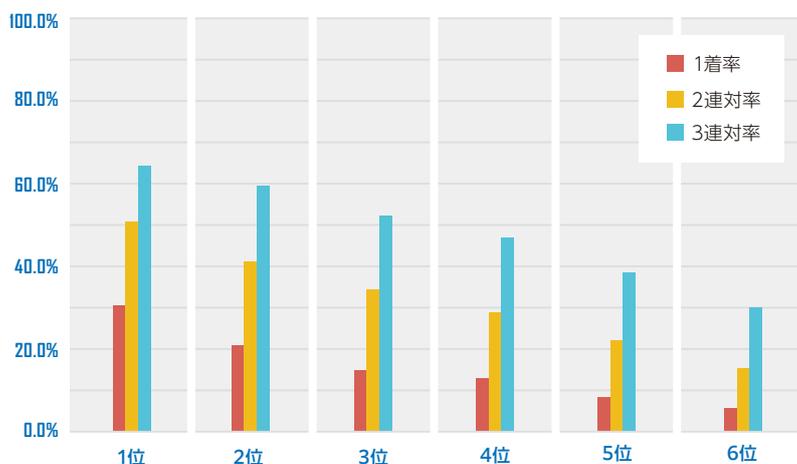


## コースの連動を読み！！



## スタート巧者を軸とする狙い方あり！！

スタート順と入着状況一覧



グラフはスタート過去1年間の下関のレースデータである。スタート順位（発順ともいう）ごとに1着率、2連対率、3連対率をまとめたものだ。

当然のことながら、スタート順が早い選手が上位着順に入る傾向が顕著だが、スタート順位1位の選手でも1着率は30%。

一方、スタート順2位と3位の2人を頭にするのも一興だ（20.6%+15.7%）。その場合、最もスタートが早いと思われる選手を2着受けにする舟券作戦もいだろう。



集計期間：2022年1月～12月

# ポートレース下関における 出目の期待値

出目の確率と期待値で3連単を狙う！

順位	出目	的中本数(率)	平均払戻金
1	① - ② - ③	168 (7.7%)	1,036 円
2	① - ③ - ②	127 (5.8%)	1,257 円
3	① - ② - ④	120 (5.5%)	1,300 円
4	① - ③ - ④	112 (5.1%)	1,363 円
5	① - ④ - ②	91 (4.2%)	1,837 円
6	① - ④ - ③	86 (3.9%)	1,952 円
7	① - ② - ⑤	80 (3.7%)	1,598 円
8	① - ② - ⑥	79 (3.6%)	2,529 円
9	① - ③ - ⑤	66 (3.0%)	2,297 円
10	① - ⑤ - ③	62 (2.8%)	5,353 円
11	① - ③ - ⑥	47 (2.2%)	2,266 円
12	① - ④ - ⑤	47 (2.2%)	3,896 円
13	② - ① - ③	45 (2.1%)	3,333 円
14	① - ④ - ⑥	44 (2.0%)	3,919 円
15	① - ⑥ - ②	43 (2.0%)	4,907 円
16	① - ⑥ - ③	39 (1.8%)	3,604 円
17	② - ① - ④	39 (1.8%)	3,572 円
18	① - ⑤ - ②	38 (1.7%)	3,046 円
19	① - ⑤ - ④	36 (1.6%)	3,781 円
20	① - ⑤ - ⑥	32 (1.5%)	5,400 円

これで3連単も  
バッチリ攻略できるぞ!!



集計期間：2022年1月～12月

表は下関の2022年1年間2,184レースの出目本数上位20傑である。その出現率を基に舟券作戦を構築すると、①-②③④-②③④というフォーメーションが浮かびあがってくる。この6点の出現本数は704本。出目率にすると32.2%に達するのだ。つまり3回に1回、12Rで4回的中する計算となる。

この6点の平均配当額は1,388円。レースをうまく選択できれば高い回

収率が期待できる数値である。このゾーンで狙いすましてみるのもいいだろう。

また、ある程度出目率が高い割にいい配当を出すのが①⑤③。平均配当額は5,353円だ。

そうした配当を取り逃さないために、流し舟券を活用するののも一考である。例えば①-⑤=流しで8点勝負した場合、合計本数は378本で出目率17.3%となる。この8点勝負で

的中した場合の平均配当額は3,782円。「6点勝負で出目率32.2%、平均配当1,388円」と「8点勝負で出目率17.3%、平均配当3,782円」を単純比較すると、①-②③④-②③④の回収率は74.5%、①-⑤=流しの回収率は81.8%となる。的中数狙いでいくか回収率狙いでいくかによって選択が分かれるといってもいいだろう。

## レジェンド今村豊さんが語る

下関の水面特徴を  
今村豊さんに伺った。  
また若きボートレーサーへの  
想いを教えてくれた。

## 【今村豊さんプロフィール】

山口県出身。1981年5月7日デビュー戦でいきなり勝利。以来39年あまりにわたり第1線で活躍した。クリーンなレースでSGV7、GI V48を成し遂げた。礼と節の人である。



## 下関は日本有数の静水面

下関は基本的に「静水面」ですが、外海の堤防が取り壊されうねりが入りやすくなっていた時期があります。潮が高い時は1マーク付近が乗りにくかったですね。その後、石でカベを造ってくれたことで安定しました。今は、昔のように「静水面」に戻っています。

全国的に「静水面」というと多摩川や浜名湖もそうですが、多摩川は淡水のため水が硬く、乗り味がややゴツゴツしています。浜名湖は海水が入っているので、水が柔らかく本当にのりやすいものの、スタートが難しい水面。その点、**下関は静水面で乗りやすく、スタートも決めやすいプールということが出来ます。**



レース展開のカギを握る要素のひとつが「風」ですが、レースをつぶさに観ていると、「追い風=イン風」ではなくなっています。**微風の際は違いますが、しっかり追い風が吹いている時はインが弱くなる傾向があるように感じます。**イン選手はセンター・アウト勢のまくりを警戒し、スピードターンする傾向にあります。つまりインから握って旋回したくなる。その時、追い風で押されターン漏れしたり流れたりするため差し場を与えてしまいがちです。追い風の時は、一瞬落としてターンする技術をもっている選手が強いでしょう。逆に向い風の時はインが逃げているように感じます。

レース展開のカギを握る要素のひとつが「風」ですが、レースをつぶさに観ていると、「追い風=イン風」ではなくなっています。**微風の際は違いますが、しっかり追い風が吹いている時はインが弱くなる傾向があるように感じます。**イン選手はセンター・アウト勢のまくりを警戒し、スピードターンする傾向にあります。つまりインから握って旋回したくなる。その時、追い風で押されターン漏れしたり流れたりするため差し場を与えてしまいがちです。追い風の時は、一瞬落としてターンする技術をもっている選手が強いでしょう。逆に向い風の時はインが逃げているように感じます。

## 若きボートレーサーへの助言

思い切りのいい選手が減ったように感じます。アウトから思い切りターンするレースが減少しているのではないのでしょうか。その背景には安定志向があると思う。失敗を怖れちゃう。着をまとめ取りこぼしのないようにしたいという心理が働いているんじゃないかと…。それから、頭で考えて確認しながら乗っている選手も多くなりましたね。ハンドルを切る位置や量というノウハウを頭に入れて確認しながらレースをしている感じです。そうした選手は、**計算しているから身体が動かない。**確認ありきだから…。考えてターンしなくてもいいように練習があり、乗って乗って乗り尽くしていくなかで身体にしみついて勝手に動くようにならないと本当の強さは身につかないと思う。

そういう点で今の若手では、ターン力と展開の読みが光る羽野直也選手や売り出し中の清水愛海選手に魅力を感じます。**山口支部の清水愛海選手の長所はやはり「スピード」と「ハンドルの切れ」。**転覆を怖れないハートがあります。思い切って初動を入れるのは正直怖い。清水愛海選手はそれをやっていますね。初心を忘れずにこれを続けていけば、女子ナンバーワンはもちろん、男子相手に記念レースで活躍する選手にきつとなることでしょう。つまり、「女子だから…」「女子として…」という注釈が要らない選手です。そのためには、しばらくセンター・アウトから思い切ったレースを通してほしいです。目先の勝率7点を目指さず鍛錬すれば、必ずや**「本当の無敵レーサー」**になると期待しています。



# 海響 ドリーム ナイン

今村豊氏監修

攻 徹  
略 底



下関のレース情報は  
公式サイトへ!